



今月の題字
なる み
田村成美さん
(山田中1年)

田町のわだい

山田民謡伝承会が大活躍 民謡大会で4人が上位入賞

3月11日、遠野市で開かれた市長杯争奪民謡大会で、山田民謡伝承会（阿部賞会長・会員10人）の会員4人が上位に入賞する活躍を見せました。大会には県内からのど自慢39人が参加、自慢の歌声を競いました。結果、壮年の部で佐々木糸子さん（船越・61）、中年の部で佐々木ゆみ子さん（船越・48）がともに優勝したほか、少年少女の部で佐々木あすかさん（大槌町・14）が準優勝、高年の部で阿部賞さん（大沢・73）が3位に入賞しました。また、佐々木ゆみ子さんは部門別の優勝者と上位高得点者で争われる総合優勝にも輝いています。



全国小・中学校新聞コンクール 大沢小「海よ光れ」がW受賞

毎日新聞社などが主催する第56回全国小・中学校・PTA新聞コンクールで、大沢小学校の学校新聞「海よ光れ」が2つの賞を受賞しました。同コンクールの小学・学校新聞の部には全国から1,135点の応募があり、大沢小は平成18年4月から12月発行分を出品。審査の結果、同紙は見事毎日小学生新聞賞と新友会パピルス賞に輝きました。「海よ光れ」は大沢小の児童会執行部が月刊で発行する学校新聞で、平成16年9月に創刊。児童自らがテーマを決めて取材から記事作りまでほとんどを行っており、児童らは全国入賞の快挙を喜び合っていました。

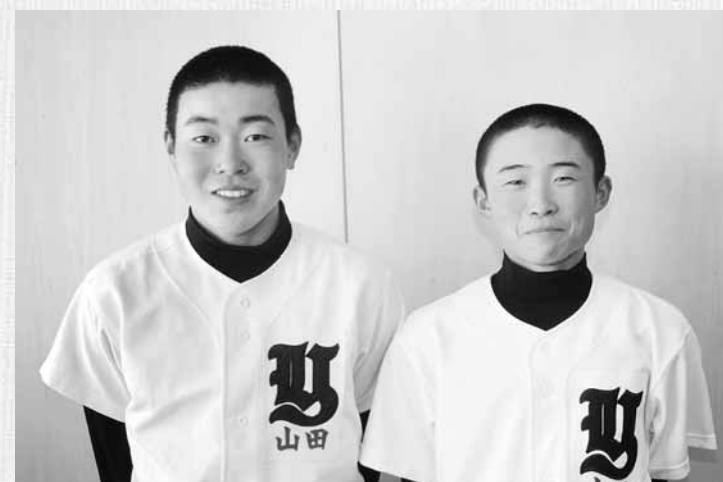


ガールスカウト 子供の居場所づくり事業 児童向けに国際理解の講演

3月17日、ガールスカウト県第28団（織笠貞団委員長）主催の「おてんばクラブ」が開催されました。文部科学省が進める子どもの居場所推進事業により実施されたもので、会場の町中央コミュニティセンターには団員や一般参加者18人が来場。風船口ケットなどのクラフト作りを行った後、山田町国際交流協会の中山利彦さんによる講演が行われました。中山さんは「世界中には、悪い人たちがたくさんいて、とても生活に困っています。皆さんが安全な日本に暮らしているということは、幸せなことなんですよ」と世界の国々の様子を話していました。

山田中・豊間根中の球児が活躍 選抜チームで堂々のプレー

第5回東北中学校選抜野球大会に山田中3年の鳥居輝君と佐々木拓哉君が本県選抜として出場しました。大会は3月17日と18日に仙台市で開催され、東北各県から8チームが参加。本県選抜は初戦で仙台市選抜（宮城県）を下し、続く準々決勝で招待チームの松戸市選抜（千葉県）と対戦しました。結果、惜しくも敗れましたが、鳥居君と佐々木君は2戦とも出場し、堂々としたプレーが随所に光っていました。鳥居君は「岩手にはいないタイプの選手のプレーを見て学ぶことが多かった」、佐々木君は「この大会で経験したことをチームで生かしたい」と次の大会に向け、意欲を燃やしていました。また、3月25日から千葉県千葉市などで行われたK-Ball全国中学生選抜野球大会に豊間根中3年の畠山大生君、卯名根口東君、及川翔太君の3人が宮古選抜チームとして出場。惜しくも初戦で鹿島クラブ（茨城県）に敗退しましたが、元気いっぱいのプレーを見せてくれました。



東北中学野球選抜大会に出場した鳥居輝君＝写真左＝と佐々木拓哉君



K-Ball全国中学生選抜野球大会に出場した畠山大生君＝写真左＝、卯名根口東君＝写真中＝、及川翔太君



カキむき体験では真剣な表情で作業に取り組んでいました(写真上)／カキの中華炒めの試食を味わう参加者(丸写真)



販売コーナーではカキなどの特産品が買い求められていました

三陸山田カキまつりに15,000人 旬の味覚を思う存分堪能

3月18日、山田の魅力発信実行委員会が主催する三陸山田カキまつりが開催され、大勢の観光客などでにぎわいました。三陸山田でんご盛りフェスタ2006の通年事業の一環として開催されたもので、今年で3回目となります。会場の大沢漁協荷捌所には県内外から15,000人が来場。販売コーナーでは殻付きカキやむきカキなどの水産物や特産品が並び、買い求める人たちが活気にあふれていました。カキ・ホタテすくい体験やちびっこカキ釣り大会、養殖いかだの見学などの体験コーナーも軒並み大盛況で、カキむき体験では、参加者は慣れないナイフの扱いに苦戦しながらも作業に取り組んでいました。また、カキ汁やカキグラタン、ジャンボ鉄板で作るカキの中華炒めの試食コーナーには長蛇の列ができ、バーベキューコーナーでは買い求めた水産物をその場で焼いて食べるなど、来場者は旬のカキの味覚を存分に堪能していました。